

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

いよいよ時給1500円を実現する時だ

CTS春闘の課題 抜本的な賃上げを！



JR千葉鉄道サービス（CTS）は1月1日付で契約・パート社員の時給を30円引き上げました。

昨年8月の20円引き上げに続くもので、19年度は計50円（月額換算8千円）の引き上げとなります。正社員も年齢給5千円の賃上げが行われています。

これは、現場から怒りを何年にもわたって会社に突きつけ続けてきた結果であり、一定の前進とは言えるものの、千葉以西の事業所でも時給1030円（月額換算16万4800円）程度です。

要員不足の全責任は会社にある

CTSは時給引き上げの理由を「要員不足」と言っています。

介護職場をはじめ全社会的な「人手不足」が報道され、それはCTS等の清掃職場にも波及しています。

動労千葉が数年前から指摘・追及してきた通り、恒常的で深刻な要員不足の責任は、賃

金を低く抑えこんできたCTS経営陣と、親会社JR東日本にあることは明白です。

また、運転車両におけるプロパー社員の退職（他の鉄道会社への転職等）も続いています。あまりの低賃金、福利厚生の格差、将来展望のなさが原因です。

JR東日本に支払い能力はある！

いよいよ全事業所一律で時給1500円（月額換算24万円）を現実的に目指すべきときです（これでも手取りで20万円前後。最低限の要求だ！）。正社員の賃金水準も抜本的に引き上げさせなければなりません。

CTSは団交で、ことあるごとに「会社の体力がない」とごまかしてきましたが大うそです。CTSの営業収益の大半はJR東日本からの委託費です。空前の黒字を重ね続けているJR東日本に、支払い能力がないはずがありません。

*

すべては闘いによって、会社と労働者側の力関係によって決まります。現場からの闘いをさらに強め、2020年の春闘で基本賃金の抜本的な改善をかちとろう！